



### 県産原木の現状と課題

原木出材量は年々増加しているところであるが...

	需要(m <sup>3</sup> )	供給(m <sup>3</sup> )
県東部製材用材	40,000	28,000
県全体合板用材	230,000	50,000

製材用材、合板用材共に不足

県内外のバイオマス発電、チップ工場稼働  
チップ用材要求量が急上昇

県産原木供給量増加が必要

### 若桜町森林整備の現状と課題

豊富な森林資源 スギ ヒノキ林 約6,500ha  
しかし...ここ5年間の間伐面積は 約370ha

94%の森林で間伐が必要

若桜町で間伐を進める必要あり

### 課題への対策

課題: 県産原木供給量増加、若桜町間伐推進

★若桜町間伐推進、原木供給量の増加★

- 1 路網沿線森林経営計画策定推進(森林組合)
- 2 路網空白地帯の解消(町) → 新たな原木供給源確保

★県東部A材出材量の増加★

- 3 原木の造材・仕分能力向上(森林組合等) → A材出材推進

### 1 路網沿線森林経営計画策定推進 (若桜町)

- ・森林組合が森林経営計画の樹立、間伐を推進中
- ・まだ、道沿いでも間伐できていない区域が多い

道沿い 森林経営計画策定、確保

- ① 森林組合が森林経営計画を樹立した区域を色塗り
- ② 路網沿線森林経営計画策定済み
- ③ 路網空白地帯の解消

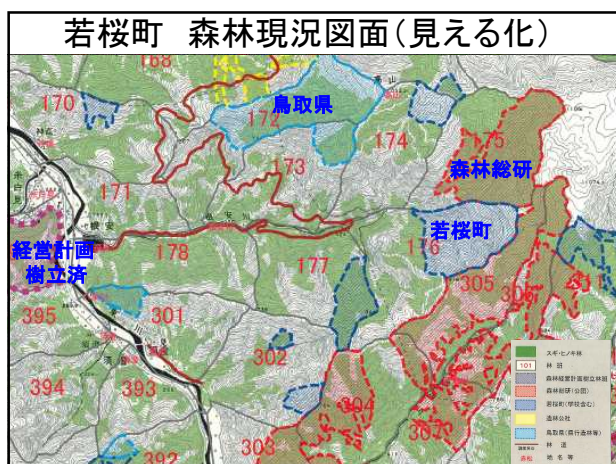
### ① 森林経営計画策定状況の見える化

- 1 若桜町のスギ・ヒノキ人工林図面を作成
- 2 県、町、森林総研、造林公社が整備する森林を表示
- 3 森林組合が森林経営計画を樹立した区域を色塗り
- 4 林道など幹線路網表示

幹線路網及び資源があるが...  
森林経営計画が樹立できていない区域を見える化

↓

森林組合、若桜町、鳥取県で図面を共有  
今後の森林整備検討資料として活用



### ②道沿い間伐対象林分の調査

- (1)道沿いのスギ・ヒノキ林を現地調査  
間伐必要林分の抽出
- (2)調査結果取りまとめ  
見える化図面に表示
- (3)森林組合への説明  
間伐実施提案

↓

茗荷谷地内の間伐、  
森林経営計画策定を  
検討中

### 2 若桜町路網空白地帯の解消

若桜町路網空白状況  
 緑・・・スギ・ヒノキ  
 桃・・・路網から350m  
 (低コスト搬出区域)

↓

資源はあるが、路網がないため原木が搬出できない区域がある。

↓

幹線路網(林道)を開設し、原木供給源に・・・

### 路網空白地帯の解消方法

路網空白地帯で新たな林道開設  
 住民から開設要望のあった実現性の高い場所で検討

↓

- ①林道ルート案作成
- ②ルート案検討会の開催
- ③事業化に向けて町への支援

### ①林道ルート案の検討

- (1)地山傾斜、地すべりを考慮し、ルート案を作成
- (2)作成したルート案現地踏査等
- (3)複数のルート案の比較  
(林道担当と連携し、開設経費概算額も算出)

**6つのルート案を作成**

名称	屋敷	ト	赤松ル
地図上の線		波線	茶破線
接続道	屋敷	谷側)	町道
幅		m	幅員4.0
起点	屋敷	谷側途	松尾神社付
距離			3,600m
最大縦断勾配			10%
曲線半径			12m
地すべり			4箇所
急傾斜区域			650m
工事費(概算)	規格		00万円
m単価	規格に合わない	16.1万円/m	10.2万円/m
			13.3万円/m
			9.4万円/m

### ②ルート案検討会の開催

**若桜町林道検討会を3回開催**  
 6つのルート案⇒若桜町、森林組合、森林所有者に提案、現地確認

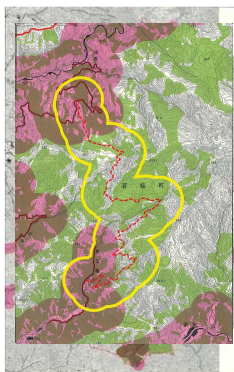
関係者の合意形成を図る

提案した2つのルートを修正、改良した林道諸鹿屋堂羅線の事業化を若桜町が進めることとなった。



### ③事業化に向けて町への支援

町予算要求、議会説明資料  
林道利用区域  
若桜町路網空白地帯の図面



林道諸鹿屋堂羅線  
県、町が予算要求中

路網空白地帯  
250ha解消へ

### 3 原木の造材・仕分け能力向上 (県東部)

出材量は年々増加しているが、**製材用材減少**  
造材、仕分を行わず一律合板  
用材にする事案が増加 **森林所有者  
収益減少**

森林所有者の**収益向上**のために仕分け  
の**目**を養うことが必要

- ①原木の造材・仕分研修
- ②市場から原木出材者への情報提供

### ①原木の造材、仕分研修

- (1) 講師 原木市場の職員
- (2) 対象 森林組合等プランナー、仕分担当者等
- (3) 内容 造材上の失敗事例の説明  
原木仕分種類、価格予想



### 造材上の失敗事例の説明

- (1) 余尺が長すぎる、短すぎる原木  
⇒バチ(根元部分)を除いた長さを4mで採材すること
- (2) 死節が木口でわかる原木⇒切り直すことで価格1割以上増加



原木の価値判断能力を向上させるため、  
受講者が製材用材or合板用材を判定、価格予想  
⇒講師が落札予想価格を解答

	価格予想	価格答え	製材用材 合板用材
原木1	15,000	20,000	製材用
原木2	13,000	10,000	製材用 合板用



価格の根拠解説  
色、径級、曲がり、年輪幅、枝打ち、コブ等

受講者の原木価値判断、仕分技能向上

### ②市場から原木出材者への情報提供

市場情報  
高値原木、不足原木  
造材上の問題点

原木出材者  
出材意欲、造材能力向上

原木購入者  
必要とする原木の確保



現在、原木市場運営会社が、  
情報提供できる範囲に  
ついて検討中

## まとめ

### 1 路網沿線森林経営計画策定推進

- 1 森林経営計画策定状況の見える化
- 2 道沿い間伐対象林分の調査  
森林組合に間伐実施提案



#### 【結果】

- ・森林経営計画検討区域の情報共有
- ・提案箇所の間伐及び森林経営計画策定検討中

## まとめ

### 2 路網空白地帯の解消

- 1 林道ルートのご案内
- 2 ルート案検討会の開催
- 3 事業化に向けての町への支援



【結果】林道諸鹿屋堂羅線事業化に向けて進行中

## まとめ

### 3 原木造材・仕分け能力向上

- 1 市場での原木造材、仕分研修
- 2 市場から原木出材者への情報提供の仕組を提案



#### 【結果】

- ・原木造材、仕分の重要性を認識
- ・原木出材者への情報提供検討中